

## 「くじゅう九電の森」における環境教育の概要

九電みらい財団は、子どもたちの環境保全意識を啓発し、将来の九州の環境保全につなげることを目的として、主に小中学生を対象とした体験型の環境教育を行っています。

実施にあたっては、九州電力㈱の社有林である「くじゅう九電の森」（大分県由布市）を活動の場とし、講話や実験などの「座学」と間伐体験や森林観察、木工教室などの「体験」を通じて、森の役割を学び、自然を大切にできる心を育てています。

活動初年度である平成28年度は20回実施し、738名の方々にご参加いただきました。今年度は24回実施、約1,300名が参加の予定です。

### 「くじゅう九電の森」環境教育の基本プログラム



#### 森の講話

地球温暖化の現状や森の役割について学びます。また、森の役割を確認するための実験も行います。



#### 間伐体験

森を適切に管理するために必要な仕事である「間伐」を体験します。



#### 木工教室

間伐材を使った木工教室です。鉛筆や黒板などを手作りし、森で過ごした思い出とともに持ち帰ることができます。



#### 森林観察

森の中を散策しながら、生物多様性や木の生長について学びます。